

平成29年8月27日

ファスニングジャーナル(3面)に掲載されました

第二工場が稼働へ

日東精工のインドネシア子会社

日東精工(株)(材木正己社長)では、グローバルなモノづくり展開の積極的推進を目的に、インドネシア共和国の連結子会社PT・NITTO ALAM INDONESIA(以下:NAI社)の第二工場を稼働させると発表した。

同社では、海外に9社の連結子会社と3拠点を設けている。その中でも1985年設立のNAI社はグループ海外工場では2番目に長い歴史を有する。現地の経済成長に伴って業績は堅調に伸びているが、顧客満足度の更なる向上を目指して、「製造能力の拡大」、「顧客に近い場所での操業」が実現できる環境を検討していた。

そのような状況下、現地で実績を持つ同業者PT・ISOGAI INDONESIAの事業を譲り受け、第二工場とした。これにより自動車産業をはじめとする日系製造業が多く進出するジャカルタ郊外ブカシ県に、ねじ製造工場を保有することとなり、製品供給力並びに営業基盤の拡大が

図れるなど多くのメリットが期待されている。今後、戦略的投資を計画。第二工場に関しては、自動車業界中心の特殊冷間圧造部品、太物ボルト・ねじなどの供給体制を整えていくとしている。

▽第二工場の所在地
インドネシア共和国ブカシ県リッポーチカラン、デルタシリコン工業団地内。▽稼働時期〓2017年12月(予定)。